

STEP  
10

## 先輩の卒論に意見してみよう

補助ワークシートなしでD型を書く、論点を自分で立ててみる

## 1. 今回すること

- 先輩達の書いた卒論の中から読みたいものを選び、それを資料として引用した上で自分の考察を展開するレポートを書いてもらいます。授業4回分を使って1200字程度のレポートに仕上げます。  
→これまでの学びを総括する最後の課題です。
- これまでは「〇〇について論じなさい」という出題、つまり「論点」があらかじめ指定されていました。  
→一方、本当の研究論文、たとえば卒業論文では、その論点自体も自分で立てることになります。今回は、そのような「自分で論点を立てる」ことにも挑戦してもらいます。

## 2. 作業手順

## 2-1. 卒論を読む

- 関心がある卒論を選び、最初から最後まで読みます。以下に該当する節や段落があれば、それぞれマークをつけていきます：
  - 筆者が紹介するデータや事例で、関心を持ったもの、面白いと思ったものには☆マークを付けます
  - 筆者の分析や提案で「なるほど」と思った部分、また「同意できる」と思った部分には◎マークを付けます
  - 逆に、筆者の分析や提案で納得がいかない部分には?マークを付けます

## 2-2. 考察が展開できそうな箇所を選ぶ

- マークをつけた箇所について、以下の方法で考察を展開できないか、頭の中で試していきます。  
→うまくいきそうな展開をひとつ選んで2-3へ

## ☆マークの箇所（関心を持ったデータや事例）からの考察展開

- 社会現象であるなら、その原因を自分なりに分析できそうか →できそう (a)
- 社会問題であるなら、その解決を自分なりに提案できそうか →できそう (b)

## ◎マークの箇所（同意できる分析や提案）からの考察展開

- その分析が応用できるような、何か別の社会現象はないか →ありそう (c)
- その提案が応用できるような、何か別の社会問題はないか →ありそう (d)

## ?マークの箇所（納得のいかない分析や提案）からの考察展開

- なぜ納得のいかないのか、自分なりの反論を述べることができそうか →できそう (e)
- そこからさらに、先輩の提案とは違う自分なりの代案を出せそうか →出せそう (f)

## 2-3. ワークシートを作る

- Wordの新規文書を開き、選んだ箇所の (a) ~ (f) にあわせて、次ページの構成を書き入れます：  
→つまり今回は、ワークシートそのものを自分で作ります。今後みなさんがレポートを書いていく時、ただの白紙上で下書きを作れるようにする練習です。(本当に白い紙に鉛筆を使って書く方がいいかもしれません)

(a) で考察を展開する → **D 1 : 分析型**の構成 (STEP 07)。4 つに区切って……

<p>序論 (論点)</p> <p>このレポートでは●●の原因について論じる。</p>
<p>本論 1 (☆をつけたデータや事例を卒論から引用して紹介)</p> <p>[卒論] によれば●●とは……</p>
<p>本論 2 (自分なりの分析。必要なら資料引用)</p> <p>この事例の背景には▲▲があると私は考える。なぜなら……</p>
<p>結論 (以上の要約)</p> <p>以上、このレポートでは、●●の原因に▲▲があることを論じた。</p>

(b) で考察を展開する → **D 2 : 提案型**の構成 (STEP 08)。5 つに区切って……

<p>序論 (論点)</p> <p>このレポートでは●●の解決策について論じる。</p>
<p>本論 1 (☆をつけたデータや事例を卒論から引用して紹介)</p> <p>[卒論] によれば●●とは……</p>
<p>本論 2 (自分なりの分析、あるいは卒論に書かれた分析)</p> <p>この問題の原因には▲▲があると私は考える / ▲▲があると [卒論] は述べている。……</p>
<p>本論 3 (自分なりの提案。必要なら資料引用)</p> <p>この分析をふまえて私は■■を提案する。なぜなら……</p>
<p>結論 (以上の要約)</p> <p>以上、このレポートでは、●●の解決策として■■を提案した。</p>

(c) で考察を展開する → **D 1 : 分析型**の構成 (STEP 07)。5 つに区切って……

<p>序論 (論点)</p> <p>このレポートでは●●の原因について論じる。</p>
<p>本論 1 (ある社会現象の説明。資料からの引用で説明)</p> <p>[資料] によれば●●とは……</p>
<p>本論 2 (◎をつけた卒論の分析を要約して紹介)</p> <p>これを考える上で、[卒論] による○○の分析は有益である。……</p>
<p>本論 3 (1の現象に2の分析を応用して、自分なりの分析を述べる。必要なら資料引用)</p> <p>この分析を●●に応用すると、その原因は▲▲であると考えられえる。なぜなら……</p>
<p>結論 (以上の要約)</p> <p>以上、このレポートでは、●●の原因に▲▲があることを論じた。</p>

(d) で考察を展開する → **D2 : 提案型**の構成 (STEP 08)。5つに区切って……

序論 (論点) このレポートでは●●の解決策について論じる。
本論1 (ある社会問題の説明。資料からの引用で説明) [資料]によれば●●とは……
本論2 (◎をつけた卒論の提案を要約して紹介) これを考える上で、[卒論]の○○についての提案は有益である。……
本論3 (1の問題に2の提案を応用して、自分なりの提案を述べる。必要なら資料引用) この提案を●●に応用すると、■■という解決策が考えられる。……
結論 (以上の要約) 以上、このレポートでは、●●の解決策として■■を提案した。

(e) で考察を展開する → **D3 : 反論型**の構成 (STEP 09)。5つに区切って……

序論 (論点) このレポートでは●●の原因について論じる。
本論1 (2で分析対象になっている現象を、卒論からの引用で説明) [卒論]によれば●●とは……
本論2 (?をつけた卒論の分析を要約して紹介) これに対し[卒論]は、その原因を△△だと分析している。すなわち……
本論3 (反論=その分析の矛盾点や不足点を指摘=自分なりの分析。必要なら資料引用) しかしその分析には問題があると私は考える。なぜなら……
結論 (以上の要約) 以上、このレポートでは、●●の原因を△△と考えることの問題を論じた。

(f) で考察を展開する → **D4 : 代案型**の構成 (STEP 09)。6つに区切って……

序論 (論点) このレポートでは●●の解決策について論じる。
本論1 (2で分析対象になっている問題を、卒論からの引用で説明) [卒論]によれば●●とは……
本論2 (?をつけた卒論の分析を要約して紹介) これに対し[卒論]は、その原因を△△だと分析している。すなわち……
本論3 (反論=その分析の矛盾点や不足点を指摘=自分なりの分析。必要なら資料引用) しかしその分析には問題があると私は考える。なぜなら……
本論4 (自分なりの提案を述べる。必要なら資料引用) 以上をふまえて私は▲▲を提案したい。なぜなら……
結論 (以上の要約) 以上、このレポートでは、●●の解決策として△△に問題があることを指摘、代わりに▲▲を提案した。

## 2-4. ワークシートを埋める →レポートを書き起こす

- ・ワークシートの形ができたら、その内容を埋めていきます。メモ書きで構いません。
- ・ワークシートが埋まったら（構成ができあがったら）パソコンで新規文書を開き、レポートを書き起こします。

---

## 3. 論点を自分で立ててみる

- ・今回は、序論「このレポートでは〇〇について論じる」の〇〇を、教員が出題するのではなく、自分で設定してもらいました。論じる点 = 論点を自分で立ててみたわけです。
  - 自分で問題を見つけ、自分で調べ、考える。  
与えられた課題ではなく、自主的な**研究**を今回はやってみたことになります。
- ・こうした研究の先に**卒業論文**があります。
  - あなたが4年後に書く卒業論文は、その翌年、今日あなたがしたように後輩が読んで、その上に自分の考えを展開していくことでしょう。
  - 学年をまたいだ大きなグループワークが動き出します。これが大学であり、また研究というものです。